

銀色の道

夢叶うまで挑戦

学志舎 塾長 山田勝登

みなさんこんにちは。朝晩ずいぶん涼しく、というより、寒くなってきましたね。秋も終盤、これから紅葉が見ごろとなって冬を迎えるのでしょうか。「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」などいろいろ秋は言われますが、皆さんはどれに該当しますか？私は今年になってあまりできなかった「読書の秋」と大好きな「スポーツの秋」。そう言うと...どこからともなく、昨年の育真館の卒塾生あたりから「塾長はもちろん、食欲とお酒やわね～。その後のリバウンドは？」と聞こえてきそうです。今回は昨年の壮絶なる？大越冬（ダイエット）隊のその後の報告をいたしましょう。

今年は我が岐南町軟式野球リーグ所属「ヴィクトリーズ」の成績が芳しくありません。

3月の初戦から、監督の私が塾の仕事で休日あまり出られなかったことは、全く関係ないと思いますが...勝てないのです。するとトーナメントなので試合が少なくなる。普段練習がないのに試合が少



今回のトピックス

検定試験

運動会

生徒・教師紹介

親力診断テスト

四方山話（ダイエットのその後、他）

編集後記

いとますます結果が出なくなる、の悪循環。あまりの試合の少なさに、8月の下旬の土曜の夜、福光球場を借りて、練習試合を組みました。

9月初旬には土曜日の午前中に2回練習を入れて試合に臨みました。ところが9月最初の試合日が21世紀の教育を考える塾の会、関西支部発足の会合と重なり大津へ出張。



このときは昨年の初夏に私が完投で2 - 1で勝った相手なのですが1 - 7で負け。続いたの試合日の10月上旬の日曜日も関西支部第一回セミナーin Kyoto。

ところがこの日は2, 3日前から体調が優れず、飲み込むと喉につかえる、大きく息を吸い込むと、咳き込みそうになる。前日の夜には気分が悪くなって夜中に2度目が覚める始末。朝何とか回復したので、セミナーだけでも出席しよう（2次会も参加予定だった）

岐阜駅に向かう途中、再び気分が悪くなり、車の中から主催の大津の加藤先生に欠席の電話を...

休み明けに医者に行ったのですが、どこも悪いところがないのです。そんな馬鹿な！と思い別の医者に行って検査をしたのですが、やっぱり異常なし。しかし現実には、喉には違和感はあるし...結局、ストレスとか過労で片付けられてしまいました。1週間くらいで症状はとれたのですが、その後なんと体がアルコールを受け付けない。自覚症状がある間は、身体がしんどくて、飲めないのも当たり前とと思っていましたが、その後も飲みたいと思わなくなったのです。いつも塾が終わって帰ると、ビールに始まりその後は焼酎、日本酒、ワインとその日の気分で飲んでおりましたが...

缶ビール1本が飲めない。飲みたいと思わない。量が全く入らない。これはいったい何なのでしょう？

体調不良の当初、事務長は「これは癌よ！だからがん保険に入っておけば、と言ったのに」飲めなくなってからは「経済的でいいわね」とケラケラ笑って...なんともお気楽？

調子の悪かった時に、しばらくぶりに読書を堪能しました。日曜日から月曜、火曜の夕方塾に出るまで、床の中で寝ているか本を読んでいるかの生活でした。

大学時代以来「寝る前読書」はかかすことがありませんでした。時には感動して眠れずに徹夜で長編物を読破したこともありましたが。

やっぱり本って面白いな、と改めて思いましたね。新しい本はもちろん買いに行けなかった



ので、本棚からかつて読んだ本を引っ張り出して読んだのです。結構忘れていたことも多かったようです。また一回目と違った思いを持った本もありました。TVとか映画も面白いのですが、やっぱり自分の空想の世界、想像の世界が広がる読書の面白さにはかないませんね。TVとか映画はどうあがいても映像という受身でしかありませんから。

今回書棚の奥に眠っていた本をいろいろ引っ張り出したわけですが、その中に皆さんも良く知っているホラー映画の「リング」の続編「らせん」その完結編の「ループ」を何年かぶりに読みました。

「ループ」まで読むとあの映画が陳腐化してしまいます。全く違うスケールで、次元で物語は進行します。初めて読んだときも驚きましたが、今回3回目を読んで思いを新たにしました。これは「貞子」が井戸から這って出てくるなんて単純なホラー小説ではないのです。鈴木氏の人生観というか宗教観というか人生哲学というか、この小説はあまりに奥が深い。疑問もいくつかあるのですが、いつかこれに関して書くつもりです。時間がある人はこの3部をじっくり読んでみて下さい。私は3度目にしてやっとわかりかけてきたことがあります。

検定試験

さてこの秋も多くの塾生が英語検定、漢字検定、数学検定、歴史検定にチャレンジします。英検、漢検、数検はすでに終わり、残すは歴検のみです。では今回のチャレンジャーを紹介しましょう。

英語検定 10/15 実施

教師

山口公雄（岐大教育学部4年）

高校生

N . F（本巣松陽1年）

中学生

M . Y（伊奈波3年）T . K（聖マリア2年）

K . K（岐阜東1年）Y . Y（伊奈波1年）



漢字検定 10/23 実施

保護者

H . H（K・Eさんのお母さん）

教師

成瀬元気（岐大医学部2年）

高校生

R . F（岐南工業3年）N . F（本巣松

陽1年）T . M（岐南工業1年）

中学生

H . K（青山3年）R . O（同）Y . H（同）

E . H（岩野田3年）M . Y（伊奈波3年）

M . I（伊奈波2年）Y . W（岩野田2年）

T . M（同）M . K（岩野田1年）T . I

（同）K . K（岐阜東1年）S . O（長良1年）

小学生

R . O（長良西6年）T . O（同）M . W（岩

野田北6年）M . E（同）H . K（長良東6年）

K . M（常磐5年）A . M（岩野田5年）G .

W（岩野田北4年）



数学検定 11/6 実施

教師

東島幸道（岐阜薬大1年）

中学生

T . Y（長良3年）I . S（伊奈波3年）S .

O（長良1年）Y . Y（伊奈波1年）

小学生

T . O長良6年）M . W（岩野田北6年）

K . M（常磐5年）H . Y（金華5年）

運動会

歴史検定 12/11 実施予定

中学生

Y・W(岩野田2年) K・K(岐阜東1年)

以上の面々です。

英検の結果が出ました。全員合格！

Y、F、Yの3人は13日に東海女子大学で2次試験の英会話の面接がありました。

今後の漢検、数検の結果が楽しみです。歴検受験者の2人、期末試験のあと頑張ってくださいね！

昨年も書きましたが、検定試験に挑戦する生徒って本当に頑張り屋が多いですね。誰に強制されるでもなく...一部、お母さんが申込書を勝手に出した！という生徒もいるかもしれませんが...どちらにせよ、誰に教わるでもなく自分で学習して受験するわけですからね。これこそ私が求める「学力」がついてきている証ではないでしょうか。

1度受験すると、ほとんどの生徒が次の級へとどんどん挑戦を続けます。また検定試験にチャレンジしたことのない生徒、次の機会には頑張ってみよう！

その場合、いきなり難しいところから受験しないで、無理のない級から挑戦してみよう。

次回のチャレンジャーは君だ！

「塾長、見に来て！」とのリクエストにお応えして、今年も見に行きました、運動会！中にはわざわざプログラムに印をつけてくれた生徒もいましたね。

今年はなんと、初めて塾生のお母さんからのリクエストがありました。うれしいことです。

まずは塾生のリレーでの力走のスナップから。





なんと言っても運動会の花はリレーですね。特に代表リレーは見ごたえがあります。それではしばらく運動会のスナップを御覧いただきましょう。



運動会と言えば元来「技」と「力」と「スピード」を競うのはもちろん、それだけではなく娯楽と遊戯性を取り入れたものでした。

それが「順位をつけることは、教育の場にはふさわしくない」といったお役人の誤った考え方からか、いつの間にか我々の年代のものとはだんだん形が変わってきました。

今回見に行ったA中学校とB中学校の運動会について私の感じたことを述べます。

B中学の生徒にもっと楽しい運動会をさせてあげたい。見る立場からすると、B中の運動会はあまり面白くありません。しかしこれは生徒が悪いわけではありません。歴代の校長以下、運動会に携わった先生方の責任です。

代表リレー以外すべての競技が全員参加型の典型的なみんな平等、順位は関係ない、怪我のない安全競技のみ。女子も男子もごっちゃませ。応援も赤団、青団の二つだけなので、生徒が多すぎて一部の生徒の真剣みのなさが見受けられました。

実は2年前にPTA会長と話をする機会があり、運動会の件でこのことに会長は言及していました。会長もB中の運動会の内容のなさを校長に言ったそうですが、全く「ぬかに釘」状態で話にならんと嘆いていました。「俺の時代はこんなんじゃないかったんだがな...」と。

役員の方とも運動会の最中に話す機会があり、私が「なんと面白くない運動会ですね」と言うと「そうでしょう、まるで北朝鮮のマスゲームの感覚でしょう。去勢された運動会って言うか...」とぼっさり切って捨てましたね。

可哀想なのは生徒なのです。会長も、役員の方ももっとエキサイティングな運動会を生徒にやらせてあげたい、と思っているのですが。前述のように、学校側がその気がないのでどうしようもありません。

それに対してA中学はまだ昔の運動会の面影を残していました。女子の競技、男子の競技、そして男女混合競技に分けてあり、男子の3年は昔で言う「棒倒し」がありましたね。

それこそ「力」と「スピード」を競う競技で、見るほうも思わず力がいりました。

応援も赤、白、緑、黄に別れており、一人ひとりが真剣にやらざるをえない状況で、見ていてもその必死さが伝わってきました。



決定的な違いはリレーにありました。上の写真を見て下さい。これはA中のリレーの写真なのですが、コーナーに必ず生徒が立って、白線を足で押さえ、線の内側を走って追い抜かないようにきちっと見えています。またリレーゾーンから出てバトンタッチをすると失格になるのですが、これを厳格に実施していました。

B中のリレーはここが徹底されていません。白線の内側を走って抜く生徒、リレーゾーンを出てのバトンタッチ。失格になりません。

きちっとしたルールの中で正々堂々と競技をする、それが大事なんですよ。

もう一点。B中ではリレーで大差がついたとき、勝負が決した後のアンカーの生徒が途中からスピードを緩め、流してしまう姿が見受けられました。A中ではアンカーの生徒は結構最後まで走り切っていましたね。

リレーというものは先頭の走者からアンカーまでバトンをつないでいく競技でしょう？アンカーの前の走者で大差がついていても、その走者は流して走っていますか？否、否、否。アンカーが受けたバトンにはチーム全員の真剣な走りがこめられているのです。いかに勝負が決していようと、それをないがしろにすることは許されることではありません。

実は私はこれに関してあまりえらそうなことがいえません。中3の時の運動会のことです。私はリレーのアンカーでした。私がバトンをもろうと同時に1位のチームはゴールイン。そう、バトンタッチでチームメイトがバトンは落とすね、二人もつれて転倒するね、転倒ついでに落とされたバトンを蹴り飛ばすわでダントツビリ…。そして私が走り始めて、第2コーナーを抜けるころ、ビリから2番目のチームがゴール。

これを見た私はバックストレートの直線で全力疾走をやめ、流してしまったのです。



すると、第3コーナーあたりの客席から突然出てきた担任の松本先生が「山田、ちゃんと走らんか〜！」



怒鳴られた瞬間、私はすぐにトップギアに入れなおしましたが時すでに遅し。競技の後、やっべな〜と思いながら先生とすれ違うと、一言「アホ」しまった...と思いましたね。

そして「アホ」の一言に「バトンにはチームのみんなの真剣な走りがこめられている」ということを先生は言いたかったに違いないと反省しきり。

ですから、勝負がついた後もきちっと走りきれるという事は、先生方がちゃんと取り組んでいる、指導している証拠だと思うのです。

前述の「棒倒し」も見に来ていたAさんのお父さんとお母さんの話では、去年はけが人がでたそうです。



昔は、棒倒しだの、騎馬戦だの運動会には必ず大なり小なりけが人が出たものです。私も騎馬戦を

やった思い出があります。今のような帽子取りではなく、相手を落としたほうが勝ち、という力の入ったものでしたが...

A 中学校の先生方はそのリスクを背負って、そしてきちっとしたルールの中で生徒たちに運動会を実施させています。また先生方は各団の色に衣装を決めていましたね。鉢巻、シャツ、パンツ、靴下、シューズとすべてを黄色にした先生にはまいりました。生徒と先生方が談笑する姿が A 中学校の方がはるかに多かったのも、いかに先生方が運動会に入り込んでいるかを物語っていました。

どこの中学の生徒も一生懸命競技をします。しかしその競技の内容、演技の内容、プログラムなどを決めるのは...子供たちではないのです。見る者の感動の違いは指導者の「本気」「温度差」で大きな違いが出るのですね。

差しさわりのない、先生方に楽な運動会になっていく中、まだまだ頑張っている中学校の先生方には今後とも生徒にとって有意義で楽しい、そして真剣な運動会を続けてほしいと願っています。

最後に、私の大好きだった「フォークダンス」、定番ともいえる「綱引き」、あまりうれしくなかった「組み立て体操」はどこに消えたのでしょうか？

おしかけ生徒紹介

今回は至誠館の長良中3年のT.Y君です。

Y君は学志舎の塾生の中で、一番の古株なのです。1998年の夏期講習会で初めて塾に来ました。当時2年生。少しシャイでおとなしい生徒でした。あれから7年間で過ぎて、身長も私より高くなりました。この前の運動会でも走るのが速かったですね！小学校のころからスポーツ少年団で野球を始め、中学でも野球部に所属していました。

皆さんが塾に来てピッとバーコードリーダーに通す塾生証は同じ模様で、通塾期間によって、2年未満の生徒がピンク、4年未満が水色、6年未満がシルバーに色分けされていますが、なんと彼一人が、ブルーの特別模様のカードを持っているのです。教師の間で彼の特別カードのことを、「Yスペシャル」と呼んでいます。

彼は現在、そう受験生なのです。6月の前期中間テストで、自己新記録の5科目合計419点。9月の期末テストではさらに記録を伸ばし441点と絶好調。いよいよ今月の後期中間テストでは大台の90点平均、450点に挑戦します。



彼は中学3年生の受験対策講座「くらいむ倶楽部」の会員ですが、本来は土日の自習時間は9:30~21:30なのですが、8:30すぎには

教室から「Yですけど、今から勉強を始めます」との声が携帯電話に入ります。

後期の週間学習計画では前期と内容がガラッと変わりました。私が見ていてうれしくなるような内容です。以下の彼がたてた計画を見てください。 は4~9月、 は10月以降です。

①

1週間の学習計画 氏名(櫻井 貴文)

	PM	5	6	7	8	9	10	11	12	1
月	帰	夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
	宅	食	(明日)		習	習	報道	内	内	
			習		習	習	STATION	村	村	
火	帰	夕	TV	野	中	学	習	習	習	睡
	宅	食	野	球	習	習	習	習	習	
			野	球	習	習	習	習	習	
水	帰	夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
	宅	食	(明日)		習	習	報道	内	内	
			習		習	習	STATION	村	村	
木	帰	夕	TV	野	中	学	習	習	習	睡
	宅	食	野	球	習	習	習	習	習	
			野	球	習	習	習	習	習	
金	帰	夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
	宅	食	(明日)		習	習	報道	内	内	
			習		習	習	STATION	村	村	
土	ク	夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
	ラ	食	(明日)		習	習	報道	内	内	
	下		習		習	習	STATION	村	村	
日	ク	夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
	ラ	食	(明日)		習	習	報道	内	内	
	下		習		習	習	STATION	村	村	
AM	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
土	自	由	自	由	ク	ラ	下			
日	自	由	自	由	ク	ラ	下			

野球が好きなんです。前期は野球中継、プロ野球ニュースなどを中心にしっかり見ていました。しかし部活も終わり、TVは今では11チャンネルの「報道ステーション」以外は土日に少しだけ。う~ん、さすがに受験生です。低俗なバラエティー番組はありませんね。土日も

②

1週間の学習計画 氏名(櫻井 貴文)

	PM	5	6	7	8	9	10	11	12	1
月	学	夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
	習	食	(明日)		習	習	報道	内	内	
	中		習		習	習	STATION	村	村	
火		夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
		食	(明日)		習	習	報道	内	内	
			習		習	習	STATION	村	村	
水	学	夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
	習	食	(明日)		習	習	報道	内	内	
	中		習		習	習	STATION	村	村	
木		夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
		食	(明日)		習	習	報道	内	内	
			習		習	習	STATION	村	村	
金		夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
		食	(明日)		習	習	報道	内	内	
			習		習	習	STATION	村	村	
土	塾	夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
		食	(明日)		習	習	報道	内	内	
			習		習	習	STATION	村	村	
日	塾	夕	中習	塾	自	学	TV	準	TV	睡
		食	(明日)		習	習	報道	内	内	
			習		習	習	STATION	村	村	
AM	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
土	塾		自	由	塾					
日	塾		自	由	塾					

バッチリでしょう？（前述の「受験対策くらいむ倶楽部」にしっかり出ていますね。自習+岐新テストの過去問&解説、年明けからは私立、公立高校の過去問&解説、塾長のズバリあてます入試予想問題などなど）

彼は私が望むところの「学力の向上」がはっきり見える生徒です。あれせい、これせいととりたてて言うこともありません。自分で計画を立てて、努力できる生徒になりましたね。

それではいつものように本人の作文をどうぞ。

僕は2年生でこの塾に入りました。なので、僕はいまでは7年目になります。その間に塾長、先生方から沢山のことを学んできました。

その中でも、いつも塾長が言っている「最後まで絶対にやり抜く」ということを一番感じています。それは自分たちが学習しているときに、最後まで寄り添って教えてくれる先生、たとえ何時になろうといっしょに頑張ってくれる先生がいることです。僕も励まされながら今まで学んできました。



もう一つ、学志舎で自分から学んでいく力をつけることができましたと思います。たとえすぐに結果が

でなくても、ひたむきに何度も何度も問題に取り組む、そういった自分に変わることができました。

今では自分自身で目標を決めて、分かるまで繰り返してできるようにもなりました。それがテストの点数にもつながってきました。先生がいうように、結果は後から必ずついてくるものだ実感しています。1,2年生の頃は、いいときもあれば悪いときもあって、知識はついたけど、学力はあまりついてなかったと思います。

しかし今では努力を重ねることで、成績がぐんぐん伸びてきました。これからも点数ではなくて、学力をつけていきたいです。

あと、入試という大きな目標があるけど、自分のこれまでの頑張りを自信として、志望校合格に向けて精一杯頑張っていきたいです。

最後に「あきらめない」「学ぶ力」の二つの

言葉をこれからも大切にして人間性の向上を目指すのと、今までお世話になった先生方に感謝の気持ちを持ってやっていきたいと思いません。

Y君私のほうこそ感謝します、ありがとう。私が保護者説明会でも声を大にして言っている「学力の向上」についてこうも言及してくれるとは、また「人間性の向上」とどめは先生方に「感謝」…。なにもいうことはありません。君が書いてくれたB5のルーズリーフ(裏面には10月の宿題の歴史問題の勉強の跡あり)を見ながら今キーボードを打っているのですが、もう私はすごくうれしい気分です。塾とは上手に使うものだということがわかってきてますね!

おさらいです。「学力」とは「成績」ではありません。読んで字のごとく学ぶ力。自分にとって必要な知識、情報、技能など、自分で考えて自分で取得できる力。

目先の点数にとらわれる必要などありません。「学力の向上」の先には、小手先のテクニックでは得られない大きな果実が必ずあるのです。

学志舎の目指すもの・・・「学力の向上」それ以外の何ものでもありません。

教師紹介

前号に続き、2番バッテリーは学志舎で3年間生徒を教えている、教育学部4年の山口公雄先生を紹介します。



彼は実家が天台宗のお寺さんなのです。2年前の夏休み前に「塾長すみません、夏期講習中休みもらえますか?」「えーっ、一ヶ月もか?」「はい、比叡山に一ヶ月修行に行ってきます」

帰ってきたときには、しっかり私にお礼をお土産にくれました。もちろん彼の名前のお礼です。

彼はまた岐阜大学のアメリカンフットボール部の現役選手でもあります。173センチ、体重は…3桁あるんでしょうかね。過去10年間、塾生には一度も負けたことが無い私も、彼と腕相撲をしたところ、3秒ともちませんでした。丸太ん棒のような腕をしています。



気は優しくて力持ち、この度大学院にも合格したので、後2年間岐阜に留まることが決定しました。よって来年度も学志舎で引き続き教えてもらう予定です。

では彼にも書いてもらったのでどうぞ。

保護者の皆様、始めまして。学志舎でお世話になっております山口と申します。現在、岐阜大学教育学部4回生です。塾長と何かしらの縁があり、この塾で教師をしてはや3年を迎えました。

今回、この「銀色の道」に寄稿することになり、何を書こうか迷いましたが、教育学部の学生として見てきた学校と、3年間勤めて見てきた塾について書きます。

塾は学校の補完的なものと思う方が多いと思います。もちろん、指導要領の内容の減少から学校では取り扱われなくなった—しかし、必要な—内容も扱うのが塾の仕事です。

しかし知識だけを多く扱うのが塾ではありません。私たち学志舎の教師が普段の指導中に常に気をかけているキーワードは“しんか”です。この“しんか”とは“深化”であり“進化”だと考えています。

現在、学校では「みんながわかる」ように授業を展開していきます。そこでは理解の進んでいる子供はその力を持て余し、理解の遅い子供は時間の都合でおいていかれざるを得なくなります。

この子供に自己満足をあげたいのです。「私はもっとできる」という思いや「時間がかかっても、できるようになりたい」という希望をかなえてあげたいのです。

学校で習ったことを深める“深化”と、自分をより磨く“進化”ができる環境と時間を提供していきたいのです。

私は近い将来、先生になろうとしています。

学志舎では、私にとっていい勉強をさせてもらっています。子供たちの、学校では分からない本音や姿をみることができるのです。

この塾での生徒たちとの時間は、自分を成長させてくれたと思います。これからもこの時間を大切に、一生懸命過ごしていこうと思います。

輝く子供たちと、すばらしい学志舎の環境の中で・・・。

最後に、微力ではありますが、これを御覧になっている保護者の皆様の御期待に沿えるように、塾長のもと今後とも頑張りますので宜しくお願いいたします。

駄文で失礼しました。

山口先生、ずいぶん遅くなった原稿ありがとう。(笑)今年マンツーマン、1対2のコースで教えてもらっていますが、来年は1 for 4でもやってもらいますよ。

「おっかい先生」と呼ばれたり、雨が降ろうが、槍が降ろうが全くお構いなしの、そのきさくで明るいキャラが人気ですね。

教師としての素材はピカイチだと私は思っております。3年後教師となったら、単にその教科を生徒に教えるだけの授業ではなく、その教えの中に彼の人生、経験を盛り込んだ、深みと味のある授業ができるようになるであろう、数少ない人材だと確信しております。

今後ともよろしく！

定期試験

さていよいよ定期試験です。東長良中だけ10日ばかり早かったようですね。今年から二期制になった長良中の生徒は、今年3度目の定期テストですね。9月の前期期末試験では3年生が本当に良く頑張りました。5人中4人が成績アップ。

そのうち3人が自己最高をマーク。惜しくも自己記録は更新できなかった永田さんも前回に比べ5科目ともアップ。もちろん横井君も記録更新組の一人です。では6月の中間試験から9月の期末試験へのアップのほどを、ちょいと紹介しましょうか。

T・Kさん(昨年10月入塾) 360 421点

A・Tさん(4月入塾) 267 357点。

どうですか、すさまじいでしょう？

Kさんは「400点なんて絶対無理」って言い続けていたんですよ。自分で400点の壁を作って、自分でその世界へ行けなくしていたのです。いわゆるメンタルブロックってやつですよ。半年間面接のたびにそのことを言い続けて、めでたく破ることができましたね。



Tさんには期末試験の後、感想文を書いてもらったので御覧下さい。



私は今回自己最高の点数をテストで取ることができました。その理由は、自分を追い込んでいき、我慢したからだと思います。

もともと勉強は嫌いで、特に好きではない教科は常に後回しにしていた、その結果わからないまま過ぎていくばかりでした。それが積み重なっていき「ヤル気・集中力」がなくなって、自分の満足するような結果が出せませんでした。

塾に入って塾長面接で何度も「今までと同じことをやっているなら、成績も変わらない。自分が変わらずに成績が上がるはずがない」と言われ、今までの自分が嫌で、変わって行きたいとだんだん強く思えるようになりました。

それから土日も塾に行ったりして、わからない教科でも逃げずに自分が理解するまでこだわることができました。今までの自分でもこんなに集中して勉強したのは初めてでした。

結果に出たときは、努力すればこんなに成績が上がることを知り、自分の大きな自信になりました。これからも頑張りたいです。

はい、これでわかったでしょう。みんな同じなんです、みんな変わったのですよ。自分を変えたのです。今までの自分からね。そして決して楽しくない勉強から逃げないで、努力するこ

提出物を何度言っても出さない。やらないといけないうことがわかっていながら宿題をやらずに居残り補習になる。そんな自分でいいのですか？

今回変わるのは君だ！！

テキストを3回通りこなしましょう。誰にでもできることですよ、時間さえかければ。テレビも絶対に見ないようにしましょう。誰にでもできることでよ。スイッチをいれなければ。土日も塾に来て勉強しましょう。誰にでもできることですよ。本気で自分を変えたければ。誰にでもできることをやるだけです。そして終わった後の土日は、とことん頑張った生徒のみ、勉強のことはすべて忘れて、勉強は絶対にしないで、朝から晩までいやというほど遊んでください。特に受験生、遊ぶのを許可するのはこれが最後です。遊べるように頑張りましょう。



親力診断テスト

前回懇談会でのトピックの中で、保護者の方への問題を掲載しましたところ、このような問題

があれば次回からも載せて欲しい、参考になっ

たと、の声をいただきました。合点承知とばかり今回より連載物といたします。

さて、今回の問題は？

久しぶりに親戚が集まって、外で食事をする事になりました。店の個室に入って会食を始めようとした時、一人の子供がテレビをつけました。するとサッカーの国際Aマッチが始まるころでした。そこにいた4人の子供の中で、2人はサッカースポーツ少年団で頑張っています。あなたの行動は次のどれに近いですか？

- A) テレビをつけたまま食事をする
- B) テレビの向きを変えて、ボリュームも下げ、2人の子供たちに見せてやる。
- C) テレビを消して食事を始めるが、時々つけてやる。
- D) テレビを消して食事をする

診断結果

Aを選んだ人: x

テレビをつけたままだと、本当の会話を楽しむ事はできません。テレビの内容について色々しゃべっているときは、一見盛り上がっているように見えますが、終わってからは何も残りません。せっかく久しぶりにあったのですから、昔の思い出、お互いの近況、子供の生活の様子などの話に花を咲かせて欲しいと思います。

Bを選んだ人 x

これでは親戚が集まって食事をする意味がありません。この集まりは、この2人の子供の心に何

も残さずに終わるでしょう。久しぶりにあった親戚のおじさん、おばさん、いとこ達との心の触れ合いを大切にしたいものです。それに比べたら、サッカーの国際Aマッチを1回見ないことくらいなんでもないことです。

Cを選んだ人 x

時々テレビをつけたりすれば、よけいに気になって仕方が無いものです。気もそぞろで、みんなとの触れ合いを楽しむことができません。

Dを選んだ人

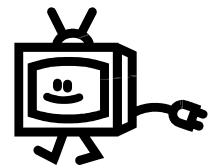
テレビを消すことで、食事と会話に集中することができます。日ごろあまり会えないおじさんやおばさんと楽しい会話をして欲しいものです。いとことお互いの学校の話で盛り上がって欲しいものです。そうすることで、親戚同士の心の絆を強くすることができるのです。

ポイント

一緒にものを食べる食事の時間は、人と人とのコミュニケーションを図るのに得がたい時間です。特に現代の忙しい生活の中では、このような時間はとても貴重です。

食事をしながら、人は自分が見たことや聞いたことを伝え合います。または自分の頑張ったことや失敗したことを語り合います。世の中の出来事について感想を言い合ったあり、将来の夢について語り合ったりもします。

テレビを見ながらでは、このようなコミュニケーションは不可能です。テレビの内容について大騒ぎして、一見その場は盛り上がっている



ように見えることはあります。でも、その後しばらくして振り返ってみると、何も心には残ってないのです。お互いの相互理解が進むこともありませんし、相手と以前より深い絆で結ばれたと感じることもないのです。

家族で毎日食事をするときも同じです。テレビを消すことで、より濃密なコミュニケーションが可能となります。毎日毎回テレビを見ながら食事という家庭は要注意です。そういう家庭には、まず手始めに1週間に1度だけでもノーテレビデーを作ってみることをお勧めします。

いかがですか？私は平日家で夕食を食べられないのでよくわかりませんが、どうやらテレビを見ながらの夕食となっているようです。

土日もテレビをつけたままで食事をしていて、子供たちに話しかけても、テレビに夢中で返事が返ってこないこともありますね。

今後せめて土日で塾をやってない日だけでも、テレビを消して夕食をとろうと思っています。

そういえば私が子供のころは、祖父母を含め8人で食事をしていたことを覚えています。テレビは別の部屋にあって、いろいろ家族みんなでとりとめもない話をしながら食事をしていましたね。

私は最近の子供のボキャブラリーが少ないことは、読書不足とこの大人との会話不足にも原因があるのではないかと考えています。夕食時の会話で分からない言葉の意味を何度も聞いた記憶があります。みなさんはどうですか？

四方山話

ダイエットのその後

さて冒頭でも書きましたように、昨年私は生徒と賭けをして、1年間で10kgの減量に挑み、最終69.8kgと見事に成功させました。先日卒業生から「塾長、リバウンドは？」との質問がありました。

お答えしましょう。

実は春先までは、70~71キロの間でリバウンドもなく推移しておりました。ところが4月にそう、ニュースレターでも書きましたように「座敷雛」のため帰省しておかしくなってきました。田舎に帰ると「食って飲んで寝て」の生活で、本当にダメです。72キロを超えてしまったのです。そして6月20日の朝にはついに73.6キロ。原因はわかっていました。塾の仕事が終わってから帰宅後飲む、そして食う。夜寝る前に食べるのは太る原因だと知ってはいるが... わかっちゃいるけどやめられない~ の世界に入りこ



んでいたのです。

私はB4のコピー用紙に決意を書いて居間の子供たちが見える所に貼りました。(6月20日)

苦しい期間は2週間でした。ダイエット期間と同じく、鬼のような中1の娘は、相変わらず私が帰るとこれ見よがしに、いろいろなものをおいしそうに食べます。私が何か食べれば1000

円ゲットできるのですから。そして横でそれを見て事務長はケラケラ笑っている。

70kgを切るまでには。
夜9:00以降は絶対に食べない。
食べた場合、1000円
ぶっ支払います。

6/20 Papa

4ヶ月の間、私の体重は見事に72~73キロの間を行ったりきたり、増えることも減ることもありませんでした。

ふ~む、これではいつになっても9時以降はものが食べんゾと。とにかく減らせばいいんだ、少々食べても。との思いで次の紙に張り替えてみたのです。

我慢せずに食べても、夜走るなり、朝・昼でカロリー調整すればいいだろう。

甘かった！！

私の体重はとんとんびょうして75キロをオーバーしてしまったのです。

年末までに
必ず70kg
を切るぞ!!
達成できな
ければ
1000円ぶっ
1/2父

9時以降「食べる」を解禁して、それまで我慢していたものが堰を切ったようにでて、ひたすら食べてしまって...

75キロをオーバーした今朝、私は情けない気持ちで育真館の教室で、以下のように書き、居間に貼っていた上の紙と張り替えたのです。

本年末迄に
必ず70kg
を切る。それまでに
夜9:00以降は
絶対食べない!!
できな...場合は
1000円払います。
1/11 Katsuro.

年末までにこんどこそ本気で1年ぶりの60キロ台に挑戦です。

ここで私が何を言いたいのか、気づいた生徒、お母さん方もいるでしょうね。保護者の方には必ず説明会で言っている、そう、正解は「アフメーション効果」目に見えるところに貼って、毎日見る！そして拝む？

6月以降の4ヶ月の間、私は一切9時以降は何も食べませんでした。それまでは頭で分かっていたてもそれができなかった。しかし紙に書いて見える所に貼ることにより、子供たちに宣言することにより、それが実行できたのです。

しかし、次に紙に書いた「70キロを切る」ということがなぜうまくいかなかったのか？

それは具体的な方法が示されてなかったということ。そして甘えがあったということ。

皆さんも同じでしょう。「期末テストを頑張るぞ！」と書いて机の前に貼っても、きっと頑張れないでしょう。「目標点 点！」を貼るから、「テレビを見ない！」と貼るから具体的に 点を取るために頑張る、テレビを見ないで勉強できるんでしょう。

そしてそのための日々の学習計画でトドメを刺すのでしょうか？

目標を具体的に書いて、目立つところに貼る。そして毎日見る。そしてその方法が具体的にある。これこそが大願成就の近道なのですね。

突然ですが…試験前教室開放は基本的に9時半～21時半なのですが、昨夜の至誠館

の授業の後、中3の生徒から「塾長、朝は何時から来ていいの？」私「9時半からにしとるけど、やりたかったらもっと早く来てもらえよ。」

それを聞いていたんでしょね。なんと長良中1年のIさんは朝6時に、Yさんは6時15分に教室にきて自習を始めていたのです。



今回は私もいつもに増して生徒にはっぱをかけまくりで、窓にも決意をバシッと貼りましたし、試験前面接でも気合十分で生徒に拝み倒し???

う～む、我が願い天に、いや、生徒に通じたか？

結局二人は2時半ごろまで勉強して帰ったそうです。夕方4時に教室へ出て行った私に、朝9時半から出ていた東島先生が少々興奮気味に報告してくれました。

夜も最後に長良中3年のNさんが「塾長、ありがとうございました」と教室を出たのは、9時半を1時間ちかく過ぎていました。

両教室に張ってある、「今回のミッションー生徒全員の成績を上げるー奇跡を起こせ！」

なにやらそんな雰囲気は漂って きました。

さて、昨夜も授業の合間に最後の試験前面接を
しておりまして、Y君に「2回連続自己記録更
新で、今回一番苦しいのはYやと思うけど、ま
~大丈夫やる、まかせたぞ。ええか？」
彼は私の目を、眼鏡の奥からじっと見据えて、
にこっと笑って「はい!」と力強い一言。

ということで、試験が終わった東長良中学以外
の生徒、今週も土日教室で会いましょう。
お土産の「質問」をどっさり待ってるぜ!?

野球

この日曜日の午前中、最後のトーナメントがあ
りました。相手は昨年笠松町のリーグから岐南
町のリーグに鞍替えしてきた、若くて強いチー
ム。過去の成績は3戦全敗。



この日はメンバーが集まらず、川口先生に急遽
出してもらいました。上の写真で中央が私、向か
って右側が川口先生。左は、育真館で清水君と
か井上さんなら覚えてはいますかね、ゴルゴ先生

の愛称で親しまれた後藤先生です。11年前の長
良中のエースで、今は私のチームの先発投手を
務めています。

さてこの日は彼の悪い癖が出て、一回に四球
エラーの後一発くらって3点先取されました。
その後も味方打線は散発3安打。(そのうちの
一本は私です。)結局なんと0-7のサヨナラ
コールド負け。

試合後のミーティングで、キャプテンが来年
は心機一転ユニフォームを変えようとの提案。
私はもちろん大賛成。13年前からこのグレー
で縦縞のユニフォーム、かつてのタイガースの
ビジター用みたいで、あまり好きではなかった
のです。あ、トラファンの方、ごめんなさい。
ま、この地域ではほとんどいないとは思いますが...

今の背番号は16ですが、新しいユニフォー
ムでは監督ナンバーの30にしようと思ってい
ます。それを言うと「山田さん、監督に専念で
いよいよ現役引退ですか?」「ばっかやろう、
来年の俺は古田だよ!」(ヤクルトスワローズ
の来期の監督兼捕手)

川口先生にも言いましたが、だいたい47歳
の私がまだレギュラーでやってるうちは、この
チームまだまだでしょうね。チーム結成時から
当時34歳の私が最年長でしたが、体力の衰え
からか、一人抜け二人抜けて、気づくと私の下
はキャプテンまで13歳あいてしまいました。

今年は目標の「1試合完投勝利」が達成でま
せんでした。試合数も少なかったのですが、来
期は下半身を鍛えて、2試合完投勝利を目指し
ます。いや、絶対にやるぞ!

学志舎カードポイント

さてみなさん、今10月のポイントを集計し始めたところです。どうやら始めて商品がゲットできる生徒がでるようです。

長良中3年のNさんが400ptを突破しました。彼女曰く「500ptになったら、図書券と交換する」と言っていました。冬季講習会、定期試験、実力テスト、岐阜新聞テストなどポイントアップの材料はいっぱいありますから、今年度中に500ptは十分に可能ですね。

では9月のポイントゲッター小・中ベスト3を発表しましょう。

小学生

- 1位 K.M奈 常磐小学校5年 32pt
* 努力賞 20pt * 漢検・数検受験 6pt
* 宿題 4pt * 100点テスト 2枚 2pt
- 2位 H.K 長良東小6年 20pt
* 努力賞 20pt
- 3位 H.S 金華小6年 18pt
* 皆勤 4pt * 宿題 4pt
* 宿題いっぱい 10pt

なんといっても8月に受験した、塾の実力テストでの2科目成績アップの「努力賞」が大きいですね。Mさんは検定試験を2つ受験しています。11月は検定試験の結果が出ますから、今度は「合格ポイント」がつかますね。

Sさんの「宿題いっぱいポイント」は事務長が特別認定でプラスしたものです。努力をす

れば、頑張ればポイントはグーンと増えるようになっているんですよ！

中学生

- 1位 T.Y 長良中3年 55pt
* 努力賞 40pt * 皆勤 8pt
* 数検受験 3pt * 100プロ 3pt
* 月間宿題 1pt
- 1位 S.S 伊奈波中2年 55pt
* 努力賞 40pt * 皆勤 12pt
* 100プロ 2pt * 単語一発 1pt
- 3位 T.K 岩野田中1年 51pt
* 努力賞 40pt * 皆勤 8pt
* 100プロ 3pt

ここでもやはり努力賞ですね。Y君は期末テスト、S君、北川さんは8月の塾の実力テストでの「努力賞」が大きくものを言っています。4位以下努力賞をとった生徒が僅差で並んでいますが、明暗を分けたのが「皆勤賞」でしたね。遅刻をしない！休まない！これです。

「実力テスト」は文字通り生徒の「実力」がついているかを見ます。定期試験ではその学期の学習範囲の知識の定着を見ますが、実力テストは範囲が広いので、定期試験で成績が少々落ちても、実力テストで上がっておればそう心配はいりません。しかし逆の場合は要注意です。

8月のテストで一部残念な成績をとった生徒は、今回も学志舎の「成績保証制度」で該当科目を1ヶ月間無料補習をしました。

山田農園のミカン

「銀色の道 vol.4」で私が実家のミカンを自慢したところ、山田農園のミカンについて問い合わせが数件ありました。いよいよミカンのシーズンも真っ盛りとなりましたのでお答えします。本当にお待たせいたしました。

その前に、手前味噌ではありますが・・・うちの子、給食でミカンが出ると、いつも「愛媛のじいちゃんのみかん食べると、まずくて食べれん」と帰ってきて言います。

早生 430円/kg 晩生 450円/kg

南柑20号 450円/kg

* 以上は「優M」の値段です。「秀」とか「L」に関しては別料金になります。

* 宅急便代が必要です。

価格は毎年変動しますので、これ前後ということをお願いします。お支払いは例年通り、年末に市場の価格が確定してから請求いたします。

例えば、早生ミカン10キロ箱ひとつですと、430円×10＝4,300円＋送料 となります。

10キロと15キロの箱があります。注文はメールでも何かの紙に書いて持ってきていただいても結構です。送料込みでも店頭価格(関東地方にしか出荷していません)よりかなりお得です。

過去に購入した育真館の皆さんにはご好評をいただいておりますが、中部圏で売られているミカンに比べると値段が安くありません。サンプルがあればいいのですが、ないので良くご検討のうえご注文ください。尚、まれに発送の途中で箱の中でミカンが数個つぶれていることがあります。その場合はご容赦ください。

母の話では今年は雨が少なく、全体に玉が小さく、しかし味は例年よりのっているとのこと。

確かに送ってもらったミカンはいつもよりおいしいです。しかし中の皮が少し厚いかな？私の実家のミカンの特徴は、中の皮が非常に薄く、皮ごとみんな食べます。今年のミカンはこれに少し難点があるかも……。あくまでも実家の産地のミカンとしての、ですけど。

ミカン農家の末っ子の一口メモ

ミカンは皮のきれいなもの、見た目の良いものから「秀」「優」「良」とランク付けされ、値段もその順となっています。自宅で食べるのなら、「優」か、状態の良いものなら「良」をお勧めいたします。皮にある傷(生傷を除く)は枝などが風で揺れてこすれてつく場合が多いのです。つまりミカンの木の外側になっている実である可能性が大きい。どうということかということ、外側になっているミカンの方が太陽に当たっていておいしいのです。

もちろん外側でもきれいなミカンはいっぱいあります。見た目が少し悪いただけで味が変わらないなら、値打ちの方がいいでしょう？

それと大きさは、見たかんじLが立派ですが、M・Sに比べ大味な場合が多いです。Mが一番いいでしょう。むくのが面倒くさくない人はSでも。私は小さい頃からSもしくは2Sを一個丸ごと食べるのが好きでした・・・。(今でも必ず一箱は2Sを送ってもらってます。)

くれぐれもお間違えの無いように。ミカンを注文しても、生徒への特典は何もありませんので!?(笑)

編集後記

いや～またまた時間がかかってしまいました。今回の書き始め、いや打ち始めが10月の半ばだったのです。ですから書き出しが朝晩涼しくて・・・になっていたのを打ち直しました。

前回はそうでしたが、打っては読み返して、あーでもない、こーでもないで打ち直しの連続。特に、悪いことを書くと頻度が高くなります。

今回は運動会のところで四苦八苦。事務長は「初めに書いたことが一番素直でいいんじゃない。あれこれねくり回してるとおかしくなるわよ」と言うものの、私としては・・・。



前回の vol.5 の後お便りをいただきました。まずはメールの一部を紹介します。まずは、中学校の教師についてですが「私は塾長先生の言われる通りだと思います。上の子のとき、学校の役員をしまして、つくづく塾長先生と同じことを感じました。(中略)なので塾には期待しております。今後とも宜しくお願いいたします。」「(前略)ですから塾長が反省する必要など全く無いと思います。書かれている通りですから。懇談会では哑然としたこともあります。まるで他人事のように話す先生、できは良くないかもしれないけど、あなたはこの子の担任でしょ！って・・・(後略)」「(前略)反省の増刊号

は誰かに何か言われたのでしょうか。先生の書かれたことは事実だと私は思います。上の子の担任はいい先生でしたが、と の担任の先生はやる気があるのか無いのかわかりません・・・(後略)」他3通。

ありがとうございました。皆さん私の意見を肯定してくださいましたが、否定的な意見はなかなか言えませんよね。言えるような雰囲気にならないといけなかな、と思っはいます。

クレーム、反対意見を本当はお待ちしています。遠慮なくどうぞ。これ本当です。

私が増刊号を出したのは、誰かに言われたわけではありませんのでご心配なく。最初書いたときには、それはもう倍以上のきつい調子で書いたのが頭に残っていて、後味がすごく悪かったです。やっぱりそれが事実であっても、良くないことを言ったり、書いたりすると何か後で心に引っかかってしまいますね。

お願いがあります。メールを下さるときは、できれば署名をお願いします。苗字だけで結構です。携帯からなら、アドレスを調べれば分かるのですが、パソコンからだと、どなたからいただいたのかわからないのです。宜しくお願いいたします。

次に手紙です。

いつもお世話になっております。(中略) 銀色の道も楽しく読ませていただいております。(中略) すぐにでもメール...と思いましたが、機械にうとい私...先生にメールしてもいいの?と気の小さい私...。検定試験の申込書と一緒にお便りを入れさせていただきました。

なかなか前に進むことのできないわが子(中略)少しずつ進んでいってくれるといいナと思っています。

子供と一緒に“ありがとう”を心がけています。少しでも、こどもと一緒に幸せになれるように……。これからもいいお話をどんどんきかせて下さい。宜しく願いいたします。

直筆の手紙ありがとうございました。このお母さんは前回の「幸福を呼ぶ方法」を請求いただき、実践してもらっていますね。それが手紙の最後に現れていますね。読まれた方はすぐに分かったでしょう？

え～それと、私に対してはどうぞ遠慮なくご意見、ご質問を下さい。いただけましたら大変うれしくおもいます。「塾長」という言葉でちょっと遠慮している保護者の方、お子さんに一度聞いてみてください。「塾長？うん、いつも馬鹿ばかり言っとる」「さぶいオヤジギャグ、あきもせんと飛ばしとる」という答えが返ってくる確率が高いと思います。

重ねて言いますが、どうぞ遠慮なく、特に言いにくいクレームをお待ちしております。もちろんお子様の相談はいつでもお申し出下さい。

今回の「銀色の道」は事務長に言わせると、何の盛り上がりも無く淡々としてる、とか。熱き青春の実況中継が無いからでしょうか？心の中で「青春の炎」は燃えているのですが…。

前回の岡山の串田先生からいただいた「幸福を呼ぶ方法」の小冊子の請求ありがとうございました。先ほどのお母さんを含め14人の方にお渡ししました。あと6冊あります。ご希望の方は遠慮なく連絡ください。私にとって本当に素晴らしい内容でした。息子は言います。「お父さんは夏休みから変わったね」(読んだのが8月だったので)う～ん変わったのかもかもしれませんし、それは実行しているせいかもしれませんし…。本当におススメです。

今回も最後まで読んでいただきまして、ありがとうございました。朝晩本当に寒くなりました。くれぐれもご自愛ください。では次号まで。

塾長 山田勝登

お知らせ

- *冬期講習 小学生、中1・2、高校生は、12月25・27～30日
中3生 12月23・25、27～30日、1月5・6日の予定です。
 - *年越し勉強会 12月31日20時より。限定16名。受験生優先。
 - *保護者懇談会 12月3・4日の予定です。
- 以上詳細は追って書面でお渡しいたします。

今、昼ごはんを食べながらNHKを見ていたら12:20～12:40の番組で、「愛媛のみかん」ということでなんと私の実家の産地が特集されておりました。見ていた方は「あ、Vol.4に載っていた塾長の故郷の風景だ」と思ったでしょう。おいしいミカンの見分け方も番組の中で言っていましたね。

午後から最終校正をしてコピー機にかけるところで、急遽原稿を差し替えた次第です。17日13:00